

芸術鑑賞会がありました

10月17日(火)の午後に芸術鑑賞会を行いました。

音楽→演劇→古典芸能、という3年サイクルで行っている本校の芸術鑑賞会ですが、今年度は古典芸能の番ということで、わちゃわちゃの企画による「学校寄席」を鑑賞しました。

落語から始まり、大道芸、太鼓、三味線と日本の伝統芸能でありながら、最近あまり身近ではなくなった芸のエッセンスを味わうことができました。また、体験コーナーもあり生徒、教員の代表が参加し体験することでより身近に感じられ、あっという間の90分でした。

以下は生徒のアンケートからです。



き、すべてに感動しました。自分もこんな風に日本の伝統を伝えることができる立場になれたら幸せだと思います。(3年女子)

落語は今まで見たことがなかったため、落語について知ることができずばらしいと思った。大道芸は驚いて息をのむところがあり、もう一度見たいと思った。最後の三味線と和太鼓は、今まで自分が想像していたものと違い新しいもので、こんなこともできるのかと感動した。特に太鼓は体全体に響いてきて体で音を感じて演奏を楽しむことができた。全体的に90分を短く感じたすばらしい芸術鑑賞会だった。(2年男子)



日本ってやっぱりいいなと思える鑑賞会になりました。日本の伝統について、最近はなかなかふれる機会がなかったので、とてもいい機会となりました。落語の一人でいろいろな音や役をおもしろくわかりやすく伝える力や、人々を驚かす「ともちゃん」のパフォーマンス、現代にも生きる津軽三味線の力強く早い手の動きや音の美しさ、太鼓の目が追い付かなくなるぐらいのスピードの手の動きと心を休める響

